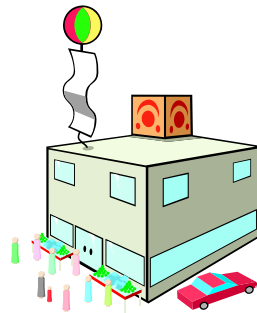


# スーパーマーケットとの協働による大規模啓発

## ● なぜスーパーか? ~期待される効果は?~

### スーパー

- ・十分な催事場所の提供
- ・チラシへの掲載
- ・メーカーとのタイアップ



### 行政

- ・体験型(各種測定)
- ・ビジュアルを使った啓発
- ・市民ボランティアによる市民参加型啓発
- ・保健関連事業者とのタイアップ



### (協働によるメリット)

- 来店者数UP(体験型健康チェックは関心が高い)
- 健康づくり関連商品の売り上げUP  
(運動関連商品、口腔ケア関連商品、など)
- 地域での社会的企業価値の向上

### (協働によるメリット)

- 健康づくりを日常生活の中でPR  
(従来型の広報が届かない男性・若年層へのPR)
- ファミリー丸ごと啓発(家族内での話題)
- イベントで得た知識の定着  
(売り場で野菜たっぷりメニューの材料を買う)

WinWinの関係が重要

# 連携事例

## 「うつ」についての講演会の実施（20年度21年度）

### 事業趣旨

●背景  
うつ病の症状の経験者が全国平均より多い。

●対象  
中小企業管理者

●内容  
うつを予防するための企業の具体的な支援についての講演会



労務・人事・総務 & 管理職対象

### 「会社力」がうつから救う！

うつ対策は結果的に会社の利益になります！

**講師**  
山口 律子 講師  
MDA(うつ・気分障害協会) 理事  
MDAでは、「うつ病」の方のための職場復帰支援プログラムを行っており、多くの方の職場復帰を実現している、テレビ新聞など各メディアに注目され大反響を得ています。企業、自治体などからの講演依頼も多く、年間100本を超える講演では、働く人々のメンタルヘルスケアの大切さを説いています。



**内容**  
・「会社のうつ」その予防法と対処法  
・うつ病は心の病気ではない  
・社員の職場復帰を支援する  
・利用できる相談機関の紹介



**日時**  
2008. 7.11 (金)  
15:00 ~ 17:30



**開催場所**  
磯子区役所7階会議室



**参加資格**  
磯子区内企業  
労務・人事・総務 & 管理職  
※ 先着順受付

お問い合わせ先  
磯子福祉保健センター 健康づくり係  
〒225-0016 横浜市磯子区磯子3-5-1  
電話：750-2447 / Fax：750-2547  
E-mail：is-herusu-puran@city.yokohama.jp

# 連携事例 ～工夫点と課題～

## 工夫点

- 地域（行政内部）の他部門と連携し、相談・フォロー体制を整え研修を実施
- ピンポイントにチラシ配布（特に小規模事業所）  
地域産業保健センター、労働基準監督署、労務安全衛生協会、県産業保健センター、食品衛生協会、理美容組合など

## 課題

- 小規模事業所にとっては、福祉保健センターも地域産業保健センターも認知度が低い
- 会社には「うつ」リスクはないと思いこんでいる
- この経済危機で、事業所にとってメンタルヘルス対策の重要性や緊急性は下がった